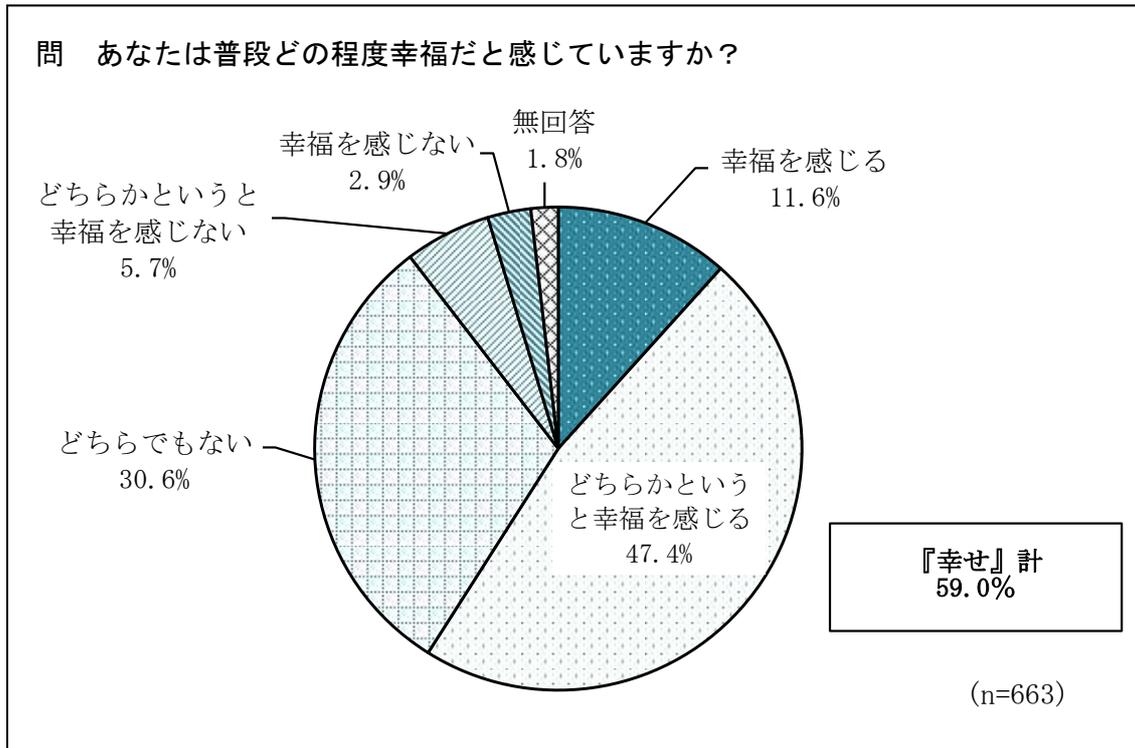


1. 幸福度の現状について

(1) 幸福度



6割の市民は幸せと感じています

【全体結果】

「幸福を感じる（とても幸せ）」(11.6%)と「どちらかという和幸福を感じる（どちらかというと幸せ）」(47.4%)の両者を合計すると『幸せ』(59.0%)となっています。

一方、「どちらかという和幸福を感じない（どちらかというと不幸せ）」(5.7%)と「幸福を感じない（不幸せ）」(2.9%)を合計すると『不幸せ』(8.6%)となっています。

【属性別結果】(図 1-1 参照)

① 性別

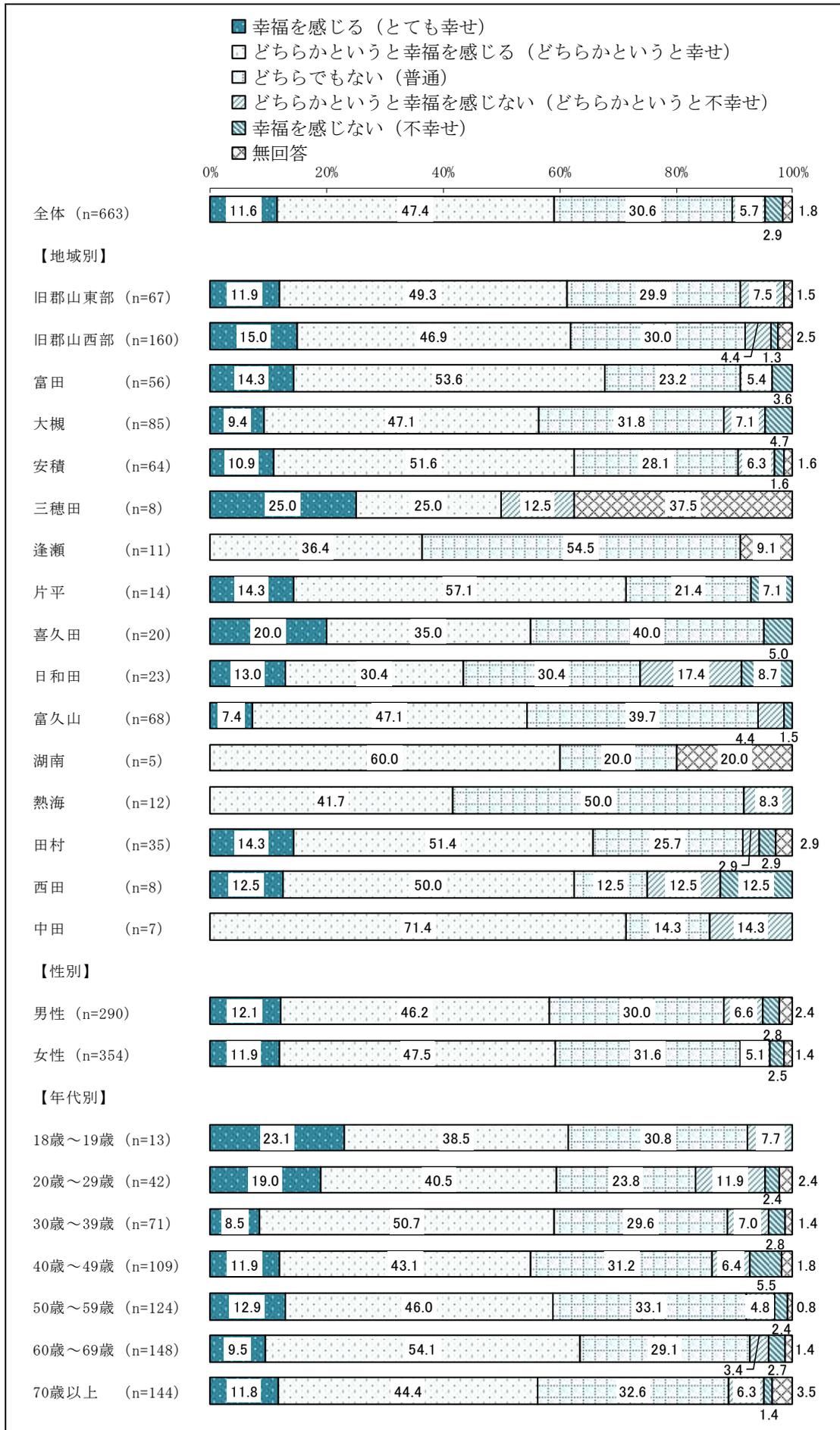
『幸せ』の割合は、女性(59.3%)の方が男性(58.3%)よりもやや高くなっています。

② 年代別

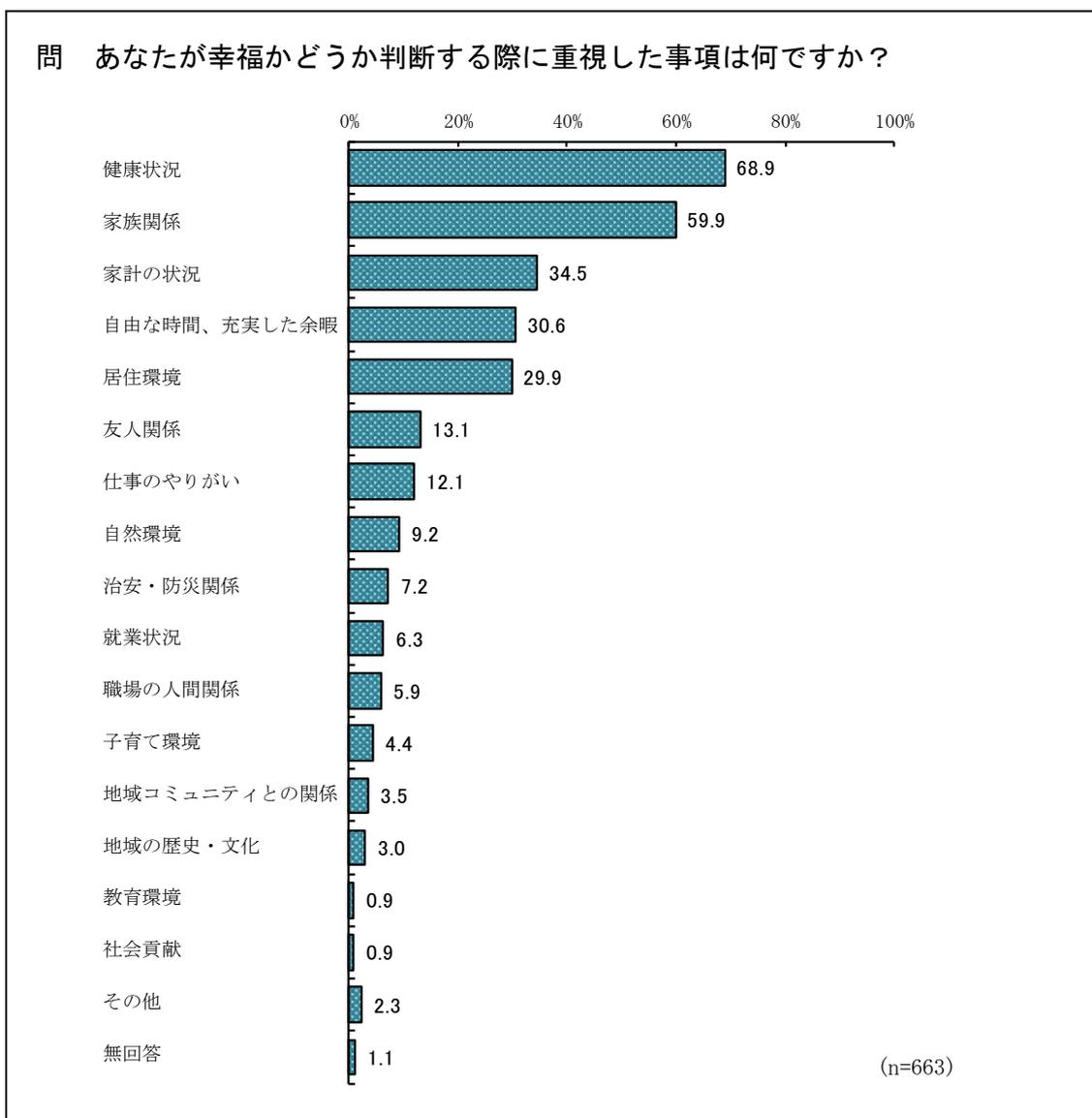
『幸せ』の割合は、60代(63.5%)で最も高くなっています。

なお、10代については回答数が少ないため、参考として数値のみ掲載します(以降同様)。

図 1 - 1 幸福度（地域別／性別／年代別）



(2) 幸福度の判断の際に重視した事項（複数回答）



————— 幸福度の判断には「健康状態」、「家族関係」を重視 —————

【全体結果】

幸福かどうか判断する際には「健康状態」（68.9%）、「家族関係」（59.9%）が特に重視されており、「家計の状況」（34.5%）、「自由な時間、充実した余暇」（30.6%）、「居住環境」（29.9%）の順に続いています。

【属性別結果】（図 1-2 参照）

① 性別

男性、女性ともに「健康状態」、「家族関係」の割合が高く、性別による大きな差はみられません。

② 年代別

各年代ともに「健康状態」、「家族関係」の割合が高くなっています。

40代では、「家族関係」（62.4%）が「健康状態」（60.6%）をやや上回っています。

図 1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～1/6～（地域別／性別／年代別）

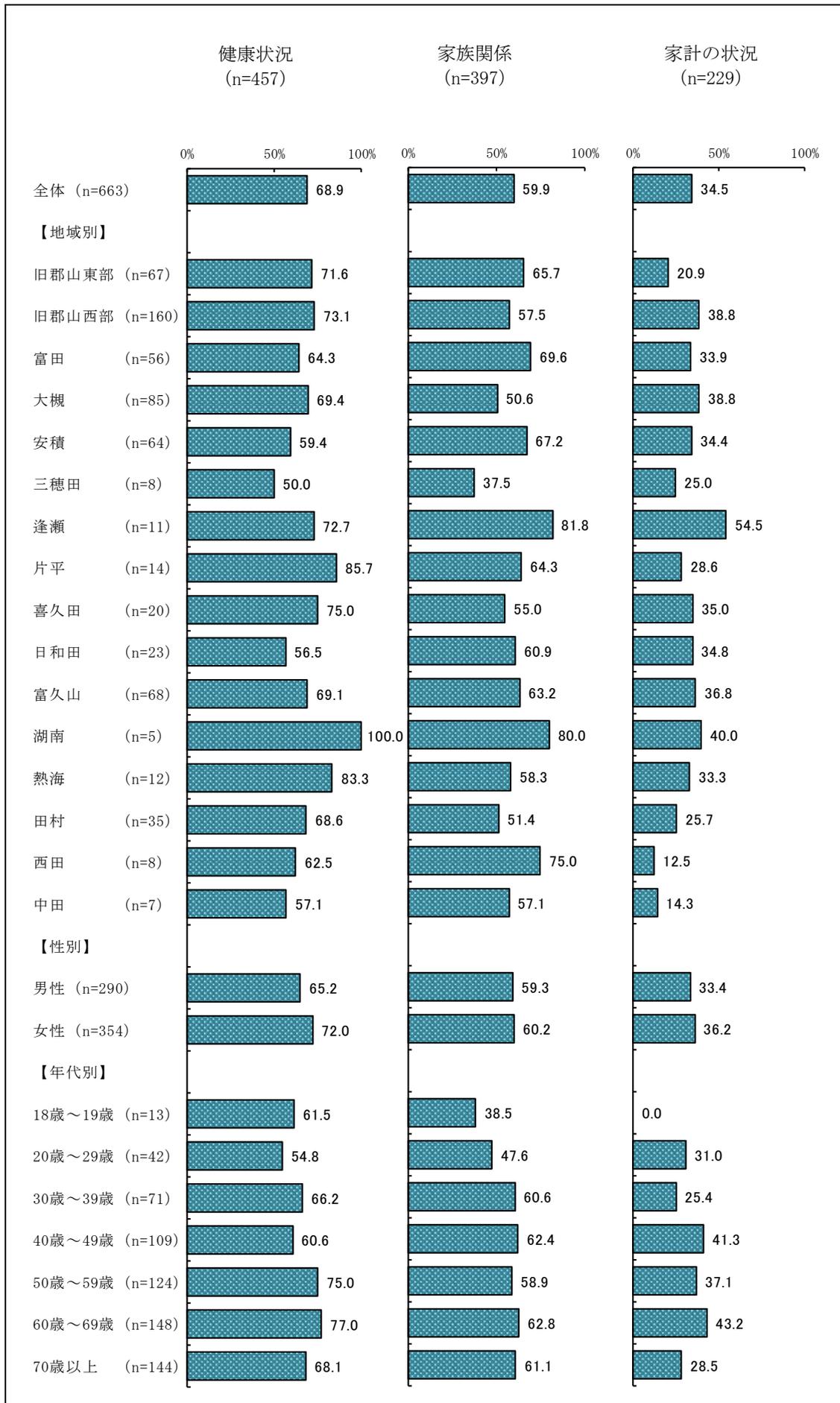


図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～2/6～（地域別／性別／年代別）

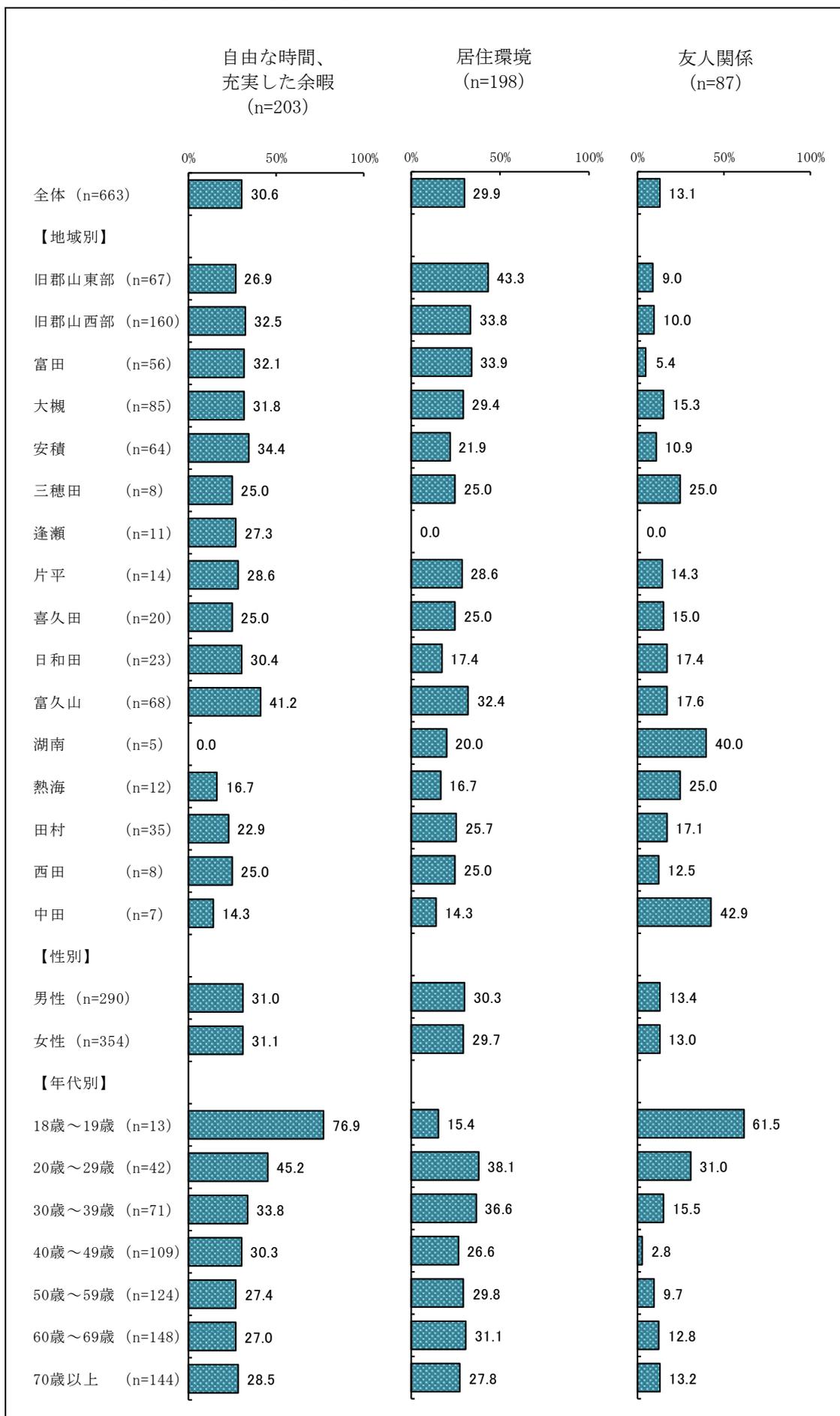


図 1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～3/6～（地域別／性別／年代別）

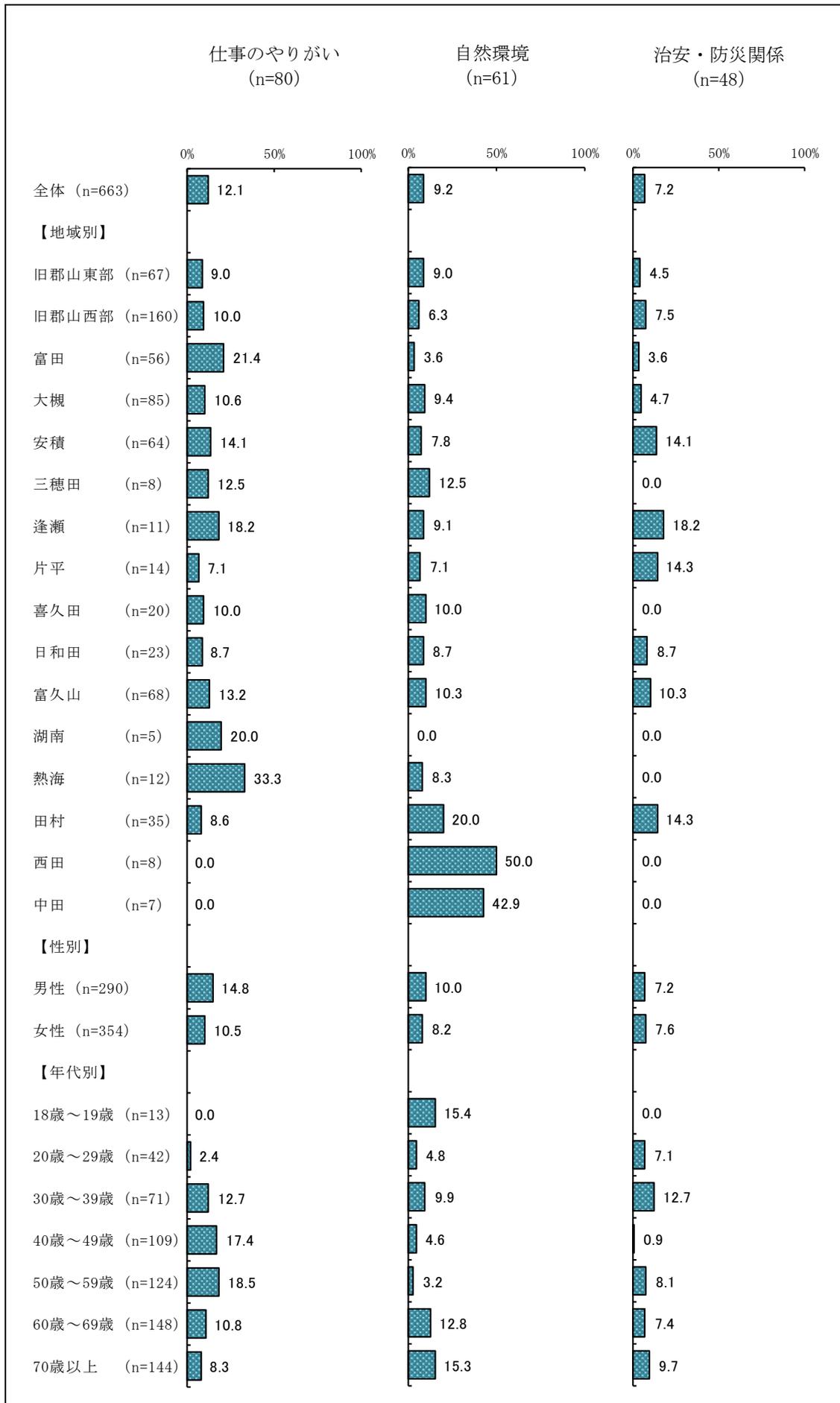


図 1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～4/6～（地域別／性別／年代別）

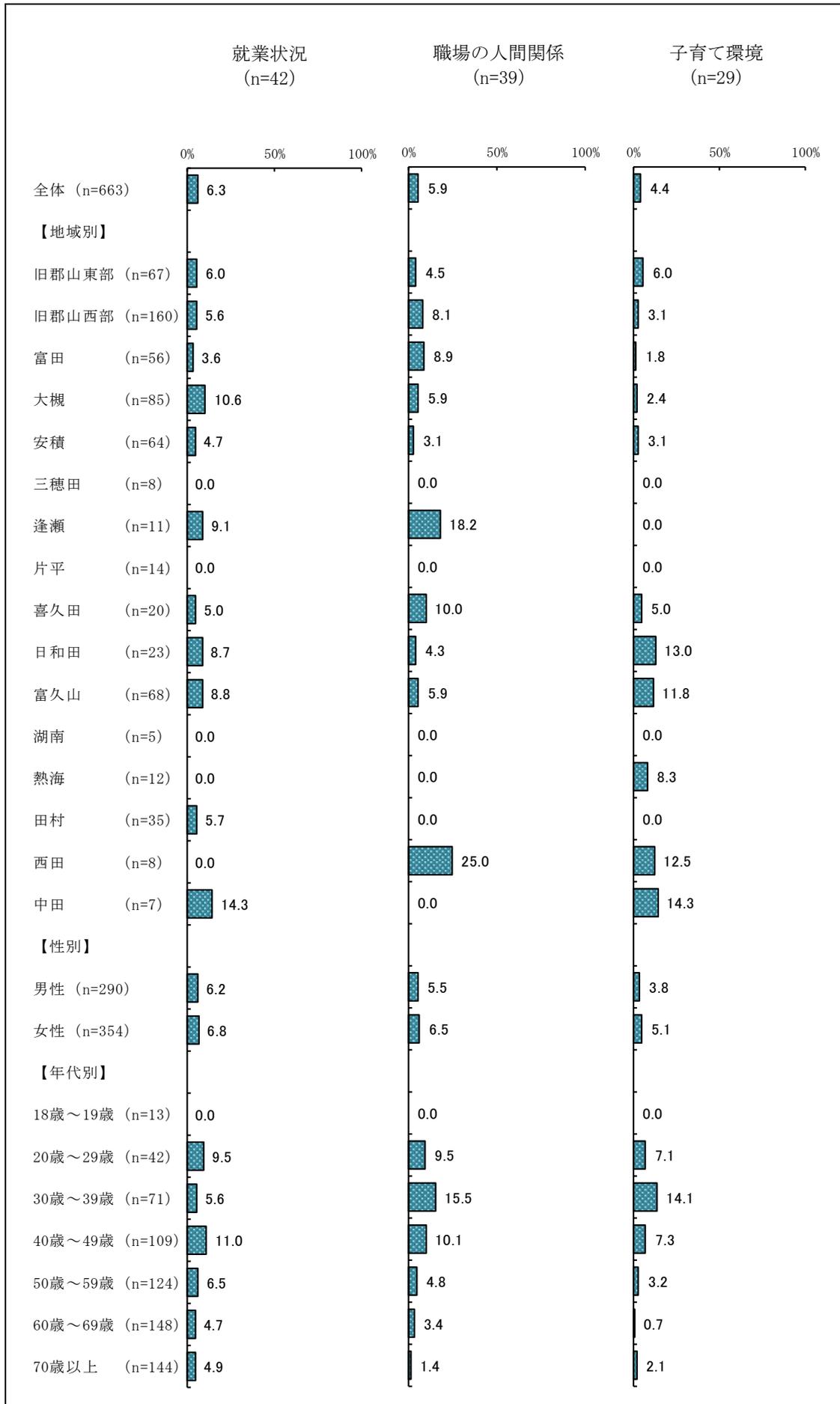


図1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～5/6～（地域別／性別／年代別）

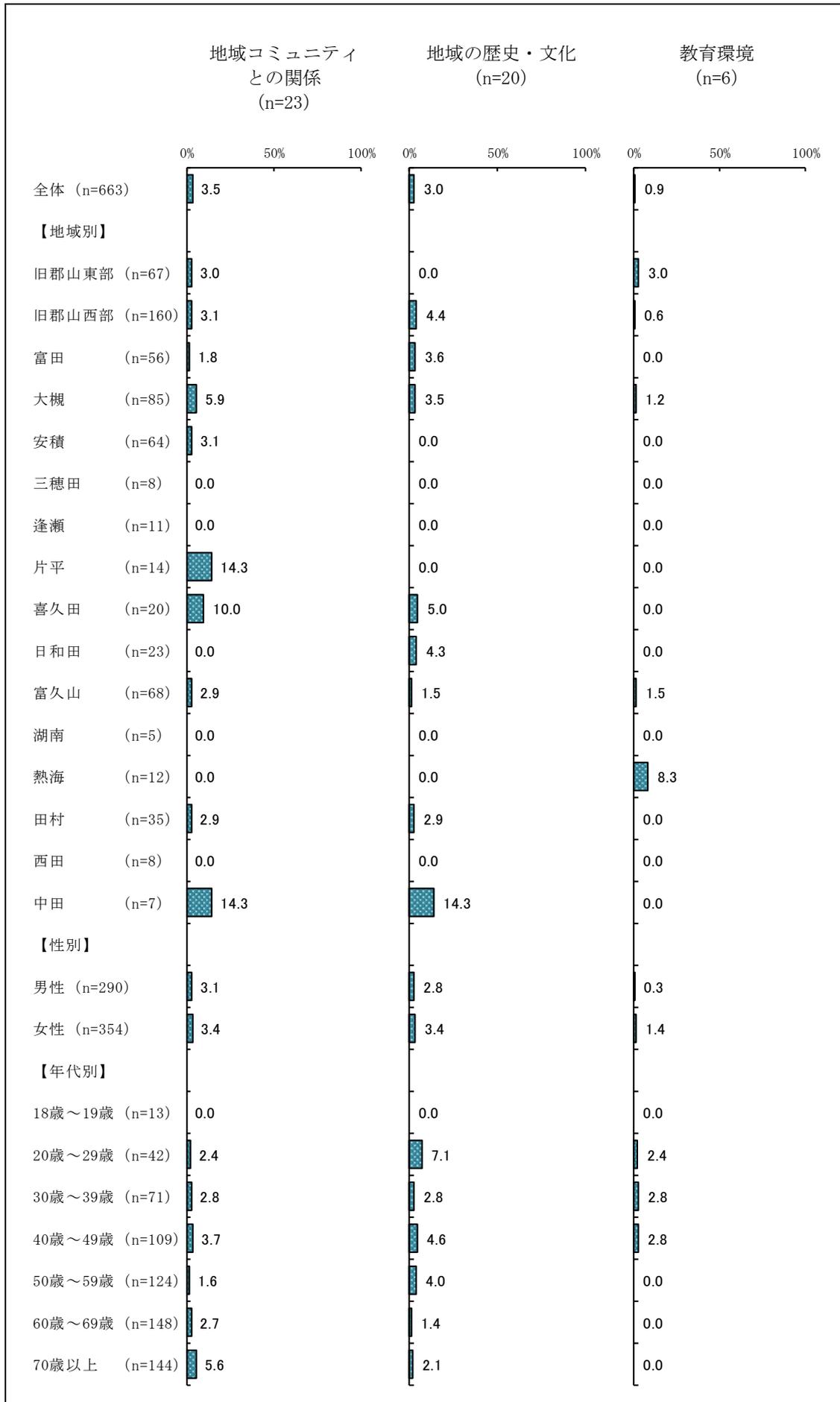


図 1-2 幸福度の判断の際に重視した事項～6/6～（地域別／性別／年代別）

